２０２５年度以降カリキュラム適用者

『リベラルアーツ学群プログラム履修モデル集』について

リベラルアーツ学群では、２年次春学期から、専門科目の履修が本格的に始まります。この履修モデル集は、みなさんが専門科目の履修を行っていくためのガイドとして編集したものです。

履修モデル集は、各プログラムの「履修の手引き」と「履修モデル」から構成されています。

●履修の手引き

・「履修の手引き」には、各プログラムから履修のしかたについてのメッセージが載せられています。ある程度自分の志望するプログラムが絞れている人は、それらのメッセージを参考にして履修を行って下さい。
・とくに、プログラムのカリキュラム構成が「積み上げ型」か「自由履修型」かで、１・２年次の望ましい履修のあり方が違ってきますので、その点を注意するようにして下さい。

●履修モデル

・「履修モデル」とは、各プログラムの科目をどのように履修していったらよいかを、例として示したものです。各プログラムを修了するためにはメジャー３２単位、マイナー16 単位の科目を修得することが必要ですが、どのプログラムも、それをはるかに上回る数の科目を提供しており、みなさんが、その専門分野の中でさらにテーマを絞った履修ができるようになっています。「履修モデル」とは、そうしたテーマの例にそったカリキュラムを示したものです。
・各プログラムの「履修モデル」ページには、そのプログラムの全科目をカテゴリーとレベルに応じて分類表示したマトリックスを記載しています。その中で「◎」のついている科目はメジャーの必修科目（教職モデルの場合は、教科に関する科目の必修科目）です。また、「○」のついている科目は、その履修モデルに該当する推奨科目です。
・また、「その他の推奨科目」には、そのプログラム科目以外のお勧めの科目を記載してあります。
・リベラルアーツ学群には、３０のプログラムがありますが、この冊子には、各プログラムから提示された「履修モデル」が掲載されています。自分の関心あるプログラムの「履修モデル」をよく読んで、科目履修の参考にして下さい。

この『履修モデル集』は、みなさんが自分の学習計画を立てる際の目安として作成したものであり、モデルのとおりに履修することを義務付けているわけではまったくありません。むしろ私たちは、みなさんが、Independent Learner として、自分の関心と視点に立って、独自の「履修モデル」を作成することを期待しています。

リベラルアーツ学群の科目編成はきわめて自由であり、内容を絞る、いろいろな分野を組み合わせる、その専門分野のさわりを学ぶ、など、さまざまな組み立て方が可能です。ぜひみなさんも、独自のテーマ性をもって自分の学習に取り組んでいって下さい。そして、「履修モデル」を通じたリベラルアーツ学群ならではの新しい学びの世界を、ともに切り開いて行きましょう。

リベラルアーツ学群教員一同

アメリカ研究プログラム

履修のしかた

・1年次に履修しておいた方がいい科目
「アメリカ研究概論」「人文探究(アメリカ文化史)」「アメリカの文化」
・2年次に履修しておいた方がいい科目
「アメリカの歴史 A」「アメリカの政治と社会」「アメリカ民族論」を履修することを特に強く勧めます。その他、アメリカ研究プログラムの科目は、その多くが 2 年次から履修できます。
・このプログラムのカリキュラムは、アメリカという存在を立体的かつ総合的にとらえるために、歴史・民族・文化、政治・経済・社会という幅広い分野からバランスよく科目を配置しています。また、国際学またはグローバル・スタディーズに関心を寄せる学生のために、アメリカを中心にした国際関係にウエイトを置いた履修もできるように工夫されています。「履修モデル」は参考として例を示したものですから、これにとらわれずに自由に考えてみてください。
・さまざまな分野の学習が有機的に結びつくようにするポイントは「専攻演習(Ⅰ・Ⅱ)」(ゼミ)を履修して、自分自身の研究テーマを持つことです。自分のテーマを掘り下げていく上で有益と思われる科目を探してそれを履修するようにすれば、おのずと主体的で体系的な学習につながります。

他のプログラムとの関係

・特に関連性のつよいプログラム
アメリカ研究は、人文領域・社会領域のすべてのプログラムと関連性があります。
というのは、アメリカ研究は「地域研究」の一つです。そもそも「地域研究」とは、特定の国や地域の特徴や状況をさまざまの学問的手法を用いて実証的に解明する研究であり、歴史・民族・文化・政治・経済・社会などの側面から地域を「総合的」にとらえようとする試みです。それゆえ、人文領域・社会領域のほとんどの学問分野とつよい関連性を持つのです。
・メジャー・マイナーの組み合わせとして推奨する専攻プログラム
上述した理由により、アメリカ研究は、人文領域・社会領域のさまざまなプログラムとメジャー・マイナーで組み合わせやすいプログラムであるといえます。――歴史学、文化人類学、法・政治学、経済学、社会学、教育学、文学、言語学、コミュニケーション学、哲学、宗教、心理学など、自分の関心にしたがって自由に。

留学・教職その他

GO プログラムでアメリカに留学した学生がアメリカ研究のゼミをとることがあります。アメリカ研究を専攻するために留学が必須というわけではありませんが、アメリカで生活し、学んだ経験は、関心を広げ、問題意識を発展させる良い機会になることと思います。

学生へのメッセージ

アメリカの音楽を聴きながら新聞に目をやると、アメリカの話題が載っていない日はありません。私たちの日常にあふれる「アメリカ」を問い、日本との関係に思いを巡らすとき、アメリカを歴史的に、かつ、世界の中でとらえることの重要性がみえてきます。自分の疑問や関心からアメリカを再発見していけるのが、アメリカ研究の面白さです。
「アメリカの現在」に対して「アンテナ」をはり、その感度を高めることを意識してください。そのためにも、それを歴史的にとらえること、さまざまな観点からのアプローチをしてみることが大切です。

アメリカ研究プログラム

1 アメリカの政治経済と国際関係　履修モデル

このプログラムは、総合的なアメリカ「地域研究(area studies)」の試みとして幅広い分野から科目を配置していますが、それとともに、グローバリゼーションの核として存在しているアメリカを中心に「国際関係」にウエイトを置いた学習ができるという魅力もあります。この履修モデルでは、アメリカの政治・経済・外交を中心に学び、それをグローバル社会の理解(global studies)へとつなげていくことを目指します。法・政治学、経済学プログラムの諸科目をあわせて履修することを勧めます。

アメリカ研究プログラム科目

level / カテゴリ	100			200			300			400		
	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
基礎・国際学				○	アメリカ研究概論	2		比較政治Ⅰ	2			
					アメリカの歴史A	2	○	グローバル政治論	2			
				○	国際政治学	2		国際金融論	2			
					国際経済学	2		国際貿易論	2			
歴史・民族・文化				○	アメリカの歴史B	2	○	日米交流史A	2			
							○	日米交流史B	2			
								アメリカ民族論	2			
政治・経済・社会					アメリカのジャーナリズム	2	○	アメリカの政治と社会	2			
								アメリカ政治史	2			
							○	アメリカ経済論	2			
							○	アメリカ外交史	2			
							○	アメリカの外交	2			
								アメリカの社会	2			

その他の推奨科目　※〔 〕内は単位数

・地域研究入門〔2〕
・政治学概論〔2〕
・国際関係論〔2〕
・国際関係史A〔2〕
・国際関係史B〔2〕
・平和論〔2〕
・紛争論〔2〕

アメリカ研究プログラム

2 アメリカの歴史と民族 履修モデル

アメリカの歴史と民族を中心に学ぶ、基本的な履修モデルです。アメリカ研究プログラムは、総合的な「地域研究」の試みとして幅広い分野からバランスよく科目を配置していますが、多民族多文化社会といわれるアメリカを理解する上では、その多様性に着目しながら、歴史の展開を具体的に学ぶことが特に重要です。歴史学プログラムや文化人類学プログラムの諸科目をあわせて履修することを勧めます。

アメリカ研究プログラム科目

level / カテゴリ	100			200			300			400		
	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
基礎・国際学		英米文学史Ⅰ	2	○	アメリカの文化	2						
		英米文学史Ⅱ	2	○	アメリカの歴史A	2						
					アメリカ研究概論	2						
					多文化共生の人類学	2						
歴史・民族・文化				○	アメリカの歴史B	2	○	アメリカ民族論	2			
							○	アメリカ思想史A	2			
								アメリカ思想史B	2			
								日米交流史A	2			
								日米交流史B	2			
政治・経済・社会								アメリカの政治と社会	2			
							○	アメリカ政治史	2			
							○	アメリカ外交史	2			
								アメリカの社会	2			
								アメリカ女性論	2			

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

・人文探究(アメリカ文化史)」〔2〕
・地域研究入門〔2〕
・世界史概論A〔2〕
・世界史概論B〔2〕
・文化人類学概論〔2〕
・宗教と民族〔2〕
・歴史学の学びと方法〔2〕
・文化人類学の歴史と方法〔2〕

アメリカ研究プログラム

3 アメリカの文化と思想 履修モデル

この履修モデルでは、アメリカの文化と思想を中心に学びます。アメリカの魅力は、経済的な豊かさだけでなく、自由な思想や生活様式、そして多様な文化の中にあると感じる人は少なくないでしょう。アメリカは「自由」を旗印として多民族多文化社会を結束させてきましたが、最近ではアメリカ社会の「分断」を指摘する声もよく聞かれるようになりました。文学・哲学・宗教学プログラムの諸科目をあわせて履修することを勧めます。

アメリカ研究プログラム科目

level / カテゴリ	100			200			300			400		
	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
基礎・国際学		キリスト教文化史	2	○	アメリカの文化	2						
		英米文学史Ⅰ	2		アメリカ研究概論	2						
		英米文学史Ⅱ	2		英米児童文学	2						
				○	多文化共生の人類学	2						
					異文化コミュニケーションA	2						
					異文化コミュニケーションB	2						
歴史・民族・文化					アメリカの歴史B	2	○	アメリカ民族論	2			
							○	アメリカ思想史A	2			
							○	アメリカ思想史B	2			
								米小説A	2			
								米小説B	2			
政治・経済・社会					アメリカのジャーナリズム	2	○	アメリカの政治と社会	2			
							○	アメリカ女性論	2			
								アメリカの社会	2			

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

・人文探究(アメリカ文化史)」〔2〕
・地域研究入門〔2〕
・多文化社会論〔2〕
・社会思想史A〔2〕
・社会思想史B〔2〕
・文化社会学A〔2〕
・文化社会学B〔2〕

アメリカ研究プログラム

4 現代アメリカ社会 履修モデル

アメリカ社会は、多様かつ複雑であり、さまざまな問題を抱えてもいますが、それは「世界の縮図」のようでもあり、日本との比較の視座を持ちながら学ぶことの意義は大きいといえます。この履修モデルでは、現代アメリカ社会を宗教・文化・政治・経済・ジェンダー・メディアなど、さまざまな観点から学びます。社会学プログラムの諸科目をあわせて履修することを勧めます。

アメリカ研究プログラム科目

level / カテゴリ	100			200			300			400		
	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
基礎・国際学				○	アメリカの文化	2		比較教育学	2			
					アメリカ研究概論	2						
					異文化コミュニケーションA	2						
					異文化コミュニケーションB	2						
				○	ジェンダーの社会学	2						
歴史・民族・文化				○	アメリカの歴史B	2	○	アメリカ民族論	2			
								アメリカ思想史A	2			
								アメリカ思想史B	2			
政治・経済・社会				○	アメリカのジャーナリズム	2	○	アメリカの政治と社会	2			
								アメリカ政治史	2			
								アメリカ経済論	2			
							○	アメリカの社会	2			
							○	アメリカ女性論	2			

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

・地域研究入門〔2〕
・アカデミックライティングⅡ〔2〕
・社会学概論〔2〕
・情報と社会〔2〕
・多文化社会論〔2〕
・比較社会学A〔2〕
・比較社会学B〔2〕